

第 1 章 政治

1 憲政史上初の女性首相 高市早苗首相誕生

(1) 参議院通常選挙 自公過半数割れの敗北

2025 年（令和 7 年）7 月 20 日、第 27 回参議院通常選挙が実施された。

選挙の結果、与党である自民・公明両党は計 47 議席にとどまる大敗となり、非改選を合わせて参議院全体の過半数（125 議席）に届かなかった。これにより、自民・公明両党は、衆議院に続き参議院においても少数与党となり、厳しい政権運営を強いられることとなった。

(2) 石破首相退陣表明 自民党総裁選へ

2025 年（令和 7 年）9 月、石破茂首相は首相官邸で記者会見し、参院選敗北の責任を取り退陣する意向を表明した。これを受けて、自由民主党（自民党）総裁選が告示され、5 人が立候補を届け出た。

自民党総裁選は 10 月に投開票され、前経済安全保障担当大臣の高市早苗氏が第 29 代総裁に選出された。1955 年（昭和 30 年）に結党した自民党において、女性の総裁は初のこととなる（なお、任期は、石破氏の残り任期である 2027 年 9 月までである）。

(3) 公明党の連立離脱、自民・維新による連立政権発足

2025 年（令和 7 年）10 月 10 日、国会内で自民党の高市総裁と公明党の斉藤代表は両党による連立政権の継続を巡って会談を行った。しかし、公明党の側が求めている企業・団体献金の規制強化に自民党が応じなかったことから、斉藤氏は連立からの離脱を通告した。これにより、1999 年（平成 11 年）から 26 年間続いた連立を含む自民・公明の協力関係は幕を下ろすこととなった。

公明党が連立政権から離脱したことにより、新たなパートナーを探すこととなった自民党は、10 月 20 日、国会内で行われた高市総裁と日本維新の会の吉村代表（大阪府知事）による会談の結果、連立政権樹立に向けた合意書に署名した。これにより、自民・維新による連立政権が誕生することとなった。

(4) 高市氏が憲政史上初の女性首相に

2025 年（令和 7 年）10 月 21 日、自民党の高市総裁が第 104 代内閣総理大臣に指名され、皇居での首相親任式と閣僚認証式を経て、高市内閣が発足した。高市氏は、明治憲法以来の憲政史上初の女性首相となる。

なお、2026 年（令和 8 年）4 月 1 日現在、日本の都道府県知事として活躍している女性は 3 名（東京都の小池百合子氏、山形県の吉村美栄子氏、広島県の横田美香氏の 3 名）となっている（女性初の知事は、元大阪府知事の太田房江氏）。また、政令指定都市のなかでは女性の市長は 1 名（仙台市の郡和子氏）のみとなっている。